

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 21年 7月 29日

【評価実施概要】

事業所番号	2870700610		
法人名	(有)日本健康管理システム		
事業所名	グループホームひまわり		
所在地	神戸市須磨区中島2-5-10 (電話)078-739-4959		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	2009年6月23日	評価確定日	2009年7月29日

【情報提供票より】(21年5月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 7月 13日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 6人, 非常勤 4人, 常勤換算	5.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	~1・2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 150 円
	または1日当たり		円

(4) 利用者の概要(5月8日現在)

利用者人数	8名	男性	1名	女性	7名	
要介護1	4名	要介護2	1名			
要介護3	3名	要介護4	0名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	82.5歳	最低	72歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	野村海浜病院
---------	--------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

<ul style="list-style-type: none"> ・ホームの理念でもある地域社会の拠点を目指すべく、地域との関わりの大切さを職員自らが実感し日々努力している。近隣住民の利用者への理解も進み協力関係も深まりつつあるが、利用者の生活機能低下により、地域行事への参加は難しくなっており、そのために職員は日常的に外部に触れる機会をつくっている。法人内部研修計画をより充実し、職員自らの意欲とレベルアップを図り、利用者の状況変化に十分対応していける体制づくりを目指している。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者及び職員は地域の一員としての意識を深めつつ、参加交流に努めている。今年度から区内に、グループホーム連絡会が立ち上がり、年4回の開催が予定されている。
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーを中心に全職員で取り組んだ。出来ていないこと、しなければならぬことが明確になり、具体的取り組みに繋げやすくなった。
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域代表からは、地域の実情や行事などの情報提供がある。参加家族はホーム内外の情報を知る機会になっている。昨年同様、自己評価及び第三者評価結果報告を通して意見交換する予定である。
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族が要望や苦情をホームに言いにくいことを踏まえ、職員から利用者の些細な日々の様子を話したり、相談を持ちかけるなど常に積極的に話すよう心がけている。
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の加齢による状態変化により、地域行事参加は徐々に難しくなっているが、散歩や買物など出来るだけ外部に触れる機会を提供し、地域ボランティアの定期来訪を通してできる地域交流に努めている。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・ボランティア活動、地域行事への参加交流など地域のなかで暮らせるよう、地域との連携を密にし、地域社会の拠点を目指す理念をあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・職員は、地域生活の中で利用者個々の残存能力を活かすべく、日常の散歩や買い物につとめて出かけるようにしている。利用者及び職員は地域の一員としての意識を深めつつある。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・利用者の生活機能の低下により、地域行事参加が難しくなりつつあるが、こまめに外に出る工夫やボランティアの定期的来訪交流など、地域の住民としての参加意識を維持するよう努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価はリーダーを中心に全職員で取り組んだ。毎回気づきがあり、しなければならぬことが明確になり、具体的な取組みに繋がっていくことができた。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・地域の代表者とホームは相互に情報提供、問題提起の場として意見をもらったり相談の場として活用している。参加家族からの意見は多くはないが、ホームを取り巻く環境などの情報を知る機会となっている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・利用者及び家族状況での事務手続きや、ボランティア受け入れなどの相談が主である。</p>		<p>・ホームは継続して、内部の実情を伝え協力関係を高めていく姿勢が望まれる。</p>
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・家族状況に従って報告書を定期的に郵送する他、随時に電話連絡もしている。家族来訪時には、近況の写真を渡したり、日常の様子を丁寧に報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・家族にとって、意見や苦情は出しにくいことを踏まえ、家族来訪時や電話などで、利用者の日常の些細な様子を伝え相談するなど、ホームからこまめに話す時間を作るよう努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・異動は無いが、職員が離職する場合は、馴染みの職員と一緒に時間をかけて引継ぎを行い、利用者の気持ちに寄り添う配慮をしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・毎年外部研修は順次受講できるような勤務体制をとっている。内部研修は法人内年間研修計画を基に、職員の参加意欲を促している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・法人内施設の交流勉強会は継続して取り組んでいる。今年4月に地区内のグループホーム連絡会が立ち上がり、年4回、管理者及び職員が意見交換や研修の場として参加交流することとなった。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気や徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・本人の生活歴や思い、家族の要望にそって、馴染みやすい環境づくりを行っている。ホームの雰囲気や他の利用者と徐々に馴染んでもらうよう、様子を見ながら対応している。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・利用者と職員の年齢が近いことにより、互いに身近な存在として共感しやすい。利用者が主体的に関われるよう職員は手を添えながら見守り、行動するよう努めている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・常に利用者本人の立場で、思いを把握することを原則としている。家族からの情報や職員の気づきを参考にし、利用者自らが表出する態度、表情から汲み取るよう努めている。</p>		
<p>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・個々の利用者の日常の問題点や些細な変化等を、職員が出し合い検討している。家族の意向や意見を反映させ、本人本位の計画となるよう作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・毎日のミーティングで出される職員の気づきや個々の利用者の状況変化などの検討から見直しすることもあり、常に現状に即した計画を作成している。</p>		
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・受診の同行や役所手続きの代行、看取りの支援等利用者個別のニーズに柔軟に対応している。認知症ケアについての近隣住民からの相談や施設からの相談にのる等、多機能性を活かした支援をしている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・歯科は週一回、内科、泌尿器科は月二回の往診がある。かかりつけ医の受診時には排泄チェック表等利用者の情報を家族に伝え、受診の結果を家族から聞く等連携を図っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・終末期に向けた方針は、入居時、状態変化に応じ主治医と一緒に家族と話し合い共有している。看取りの経験をしたことにより職員は充足感を持つことができた。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・他の人に知られたくない処置等は居室で行っている。利用者が親しみを感じられる言葉遣いに心がけている。個人情報の保護については職員入職時誓約書を交わしている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・就寝、食事時間はおおまかに決めているが、希望があれば、利用者のペースに合わせている。買い物、散歩はできるだけ意向に沿うよう支援している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・利用者は下ごしらえ、調理、盛り付け、配膳、洗い物等多くのことをできる範囲で職員と一緒にしている。食事は職員と共に楽しみながら食べている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>・入浴日は週4回午前、午後と決めているが、希望によっては柔軟に対応している。ホームの庭に植えてあるハーブを風呂に入れて楽しむこともある。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>・毎週玄関に花をいけたり、編み物、裁縫、草引き、公園の散歩や電話で家族と話す等一人ひとりに合った楽しみや役割を見つける支援をしている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>・利用者からの要望はあまりないが、職員やボランティアと一緒に買い物や散歩に行く等戸外で気分転換できるよう努めている。年2回は遠足を楽しんでいる。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>・日中は玄関の施錠をしていない。安全のためセンサーを付けている。一人で近くのお地藏様のお参りに行く利用者もいる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・地域の協力を得て、昼間想定、夜間想定での避難訓練をしている。建物の構造上2階からの避難が難しい。</p>		<p>・2階の避難用出口の確保が望まれる。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・水分摂取量と食事摂取量を記録し、不足していれば、声かけや好みに合わせる等の工夫をして、必要量の確保に努めている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・日よけをかねて、窓の外に朝顔を植えている。机の配置換えをして、気のあった利用者が一緒に座れるよう配慮している。時々席替えもする。利用者の協力を得て作った格言入り日めくりカレンダーが共有スペースに掛けられている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・部屋を間違えないよう表札代わりに居室のドアに顔写真を張り、名前も各自で書いている。馴染みの品を持ち込んだり、新聞を取って自室で読んだり、一人で楽しめる居室になっている。</p>		

 は、重点項目。